

---

---

# 教育総合センター だより

---

---

NO. 101  
平成18.9.1

## 我が子を

## わが学校 わが学級へ通わせますか

尼崎市立武庫東小学校  
校長 川野 吉信



「貴方は、子ども達に基礎学力をつけ、学力向上をはじめとする現在の諸課題について真剣に取り組んでいますか。」

「僕なりに精一杯取り組んでいます。」

「でも、貴方の想いがどうであっても、評価は他人がするものですよ。」

「だけど、僕は...」

難しいですね。若い頃から言い返す言葉が見つかりませんでした。

30歳代の前半は、研究を続けている小学校で過ごしました。素晴らしい先輩達や同僚達がおられました。

ただ、授業研究については大変厳しくて、悔しい思いで目を腫らしたこともありましたが、悩み事や相談事にはとても親切に対応していただきました。厳しさの中にも温かい雰囲気一杯ありました。

「子どものために」を合い言葉に全教職員が前向きな気持ちで、日々の実践をされていました。余談ですが、親睦旅行も活発で思い切り楽しみました。そんな時、仲間同士が集まってよく話したものです。

「こんな学校に自分の子どもを通わせたいな。自分のクラスはまだだめだけれど。」

それから、何かにつけて、その言葉を思い浮かべて、自分を振り返るようになりました。

「おまえは、自分で一生懸命努力していると思っているけれど本当にそうか。自分の学級・学校経営で、学級指導で子どもを立派に育てられると自信を持って言えるのか。」

「う・ん。一部だけかな。きめ細やかさが足りないかな。まだ努力が足りないな...。」

自分のしていることは自分だけでは客観的によく分からないので、他の人に観ていただくのが良いと思います。

しかし、自分なりの振り返りのめやすを持つことも、大事なことではないでしょうか。授業はビデオが使えるし、毎日の活動は日記形式等でもできます。

今後も、一日一日を大切に実践を積み重ねながら「我が子を自分の勤務する学校へ通わせたい」という想いが、今一度芽生える日を目指して、努力を続けたいと思います。

もし、その日が来たら「私達の育てた子どもを見てください。」と言いたいものです。

## 平成18年度 若い教員向けの研修講座

一人ひとりの教職員が、職務遂行の力量を向上させるためには、職務の遂行を通じて見いだした自分の課題について、研修を行い、自ら進んでその解決を図っていくことが大切です。

そこで、教育総合センターでは、教職員の自主的・主体的研修活動を支援するための研修体系の整備を図っております。特に、教職員のライフステージに対応した多様な研修・研修講座を提供しております。

今回は、特に、若い教員にスポットを当て、どのような研修を行っているかを紹介します。

### 1 初任者教員（小・中・養）に

（ステップ・アップ研修）

「教員としての自覚を促し、教育課題を実践的に学びスキルアップを図る」という目的で、今年度は年間14回の実施予定です。

（マンツーマン指導）

授業方法、児童生徒理解について実践力の向上を図る目的で、9月から実施します。初任者1人に対し、指導主事1人が担当し、参観授業の後、指導助言を行います。

### 2 2年目・3年目教員（小・中・養）に

（学力向上対策演習講座）

今年度より新規に実施する講座のひとつです。学力低下が喫緊の課題である本市が、その解決の方策のひとつとして取り組む新たな研修で、若い力を育てる。また、若い力に期待する講座です。

目的は、「尼崎市の学力状況と課題について理解し、学力向上に取り組む実践力を養う」ことです。

方法としては、2・3年目教員を7グループに分け、1グループごとに指導主事を配して、学力向上のための取り組みについてアイデアを出し合い、実践していきます。

研修の流れは、3回コースです。

第1回目は、7月31日（月）に実施しました。前半に全体研修として、大阪市立大学大学院木原俊行 助教授から、「学力向上につながる具体的な取り組みについて」学力向上を目指す指導と評価の工夫を具体的な事例を中心に講話を

いただきました。

学力の要素や学力形成に向けた学校・家庭の分担や連携について、さらに、毎時間の指導で実現させたいものとして、子ども一人ひとりがしっかり考える時間を確保することが大切であり、その思考を促す道具の提供も教師の大切な役割であると示されました。また、学習の振り返り、学び直しの機会の保障についても実際の教科指導の実践を提示していただき、具体的に理解しやすい講話でした。

後半は、各グループ毎に、先生一人ひとりが一学期を振り返り、各自の学力向上に向けての取り組み「研修実施計画書」について発表し、全員で検討を行っていきました。

第1回目の研修後、各自で8月末までに取り組み方法を再検討し、「研修実施計画書」を見直し、修正を加えて、「研修実施計画書」を作成、提出することになっています。それを元に第2回目の研修（10月23日）を行います。

最終的に、第3回目の研修（12月11日）に、研修と実践を振り返って、成果と課題を検討します。研修実施報告書はまとめて、冊子にする予定にしています。

### 3 4年目教員（小・中・養）に

（異校種交流）

目的は、(1)異なる校種で授業参観等を行うことにより、他校種の教育活動を学ぶ。(2)各校種間の連携のとれた教育を目指すことにより、教員の資質の向上を図ることです。10月から2月まで実施します。

（公開授業研修講座）

公開授業を7講座行います。授業後は、指導助言・研究協議を実施します。各教科の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める目的で実施します。

この講座は、全教員対象の専門研修です。ただし、4年目教員と初任者は基本研修となります。

（研修担当指導主事 市川 勉）

## 「今、あらためて感じたこと、気付いたこと」

教育総合センターに勤めて5ヶ月。当センターで、研修を受けられる方の姿や様子を見て気付いたことをまとめようと思います。

### 一つめ。

私は初任者研修を担当していますが、初任者の先生方とはとにかく元気がいい。目が輝いている。はきはきしている。礼儀正しい。研修にも前向きで、物事を素直にとらえる。それから、頭が良い。質問に対する確に答える。このように、良いところが次から次へと見つかります。このような先生方に教えられている子どもたちはなんと幸せなんだろうと思います。20年前の私と比較すると、どう考えても私の方が・・・しかし、そんな中、しんどそうにしていたり、前向きな姿勢が不足している初任者も何人かいるように思われます。周りが輝いているだけに目立つのでしょうか。すべての初任者の方が、理想を持ってこの仕事に就いたはず。子どもを育むという大きな使命を持っている教員の本分を忘れないでほしい。『がんばれ』

### 二つめ。

当センターが行っている研修に大いに参加していただきたいと思います。参加人数は、年々増加していますが、中学校の先生方の参加率が、やや低いのが気になります。夏季休業中でも部活動、校内研修、各種研究会など忙しいと思うのですが、時間を作っても参加してほしいと思います。魅力的な講座がたくさん用意されています。受講することで、ものの見方や考え方を広げ、資質を高めることができると思います。先日、2年目教員の先生方と一緒に、甲子園短期大学の園田雅春教授から『どう育む？自尊心』という

テーマで講話を聴かせてもらいました。印象に残るたくさんのことばを戴きましたが、その中から2つのことをご紹介します。

肌の色が黒いことでいじめられているゆきちゃん(6年生)がいました。教師がいじめた子どもに注意をしています。いじめた子らは、「これからは言いません」とゆきちゃんに謝っています。そのとき、ゆきちゃんのことを大好きな1年生の女の子はこう言ったそうです。「ゆきねえちゃん、色の黒いのがよく似合う。」

受講された一人は、このことばを聞いて涙が流れそうだったとアンケートに書かれていました。

また、講師は、公共広告機構のCMから引用した次のことばを最後に講話を終えられました。「命は大切だ、命を大切に、そんなこと何千何万回言われるより『あなたが大切だ』誰かがそう言ってくれたら生きていける」

『あなたが大切だ』なんて言われたら、しんどくてもがんばれますよね。

### 三つめ。

研修を受けた後、それを是非校内で広めていただきたいと思います。たとえ伝達率が半分であっても意義はあります。多くの先生方と共有することが学校の組織全体を高めることとなります。そのような場や時間が学校にできることを強く望みます。

以上、私を感じ、気付いたことを述べました。研修担当になり、自ら学ぶことは子どもだけではなく教員にこそ大切であることを今、痛感しています。

(研修担当指導主事 鈴木 美臣)



## 教育情報コーナー 資料紹介

学校行事や研究会など充実の秋に、読んでいただきたい本をご紹介します。

中央教育審議会外国語専門部会が小学校5年生からの英語必修を提言。小学校英語について。

題 名	著(編)者	出版社
小学校の英語 明日から使えるゲーム55	大和田眞智子他	三省堂
小学校英語活動365日の指導細案 CD-ROM付き	熊本大学教育学部附属小学校	明治図書
シーン別 英語絵事典	PHP研究所	PHP研究所
小学校英語活動を創る	松川禮子	高陵社

コミュニケーション能力の向上が教師力アップの決め手の一つ。下記の本を参考に。

題 名	著(編)者	出版社
新版 心をつかむ話し方～うまい先生、へたな先生	関根正明	学陽書房
プロカウンセラーの聞く技術	東山紘久	創元社
プロカウンセラーコミュニケーション術	東山紘久	創元社
教師のためのコミュニケーションスキル～毎日のストレスを減らしましょう	田中和代	黎明書房

よい授業はよい学級から、よい学級はよい授業から。授業づくりと学級づくりの一体化に。

題 名	著(編)者	出版社
学級タイプ別 繰り返し学習のアイデア～小学校編	上條晴夫他	図書文化
ゲームで身につく学習スキル～問題解決力を育てる授業プラン 小学校	進藤聡彦他	図書文化
ゲームで身につく学習スキル～問題解決力を育てる授業プラン 中学校	進藤聡彦他	図書文化
授業スキル～学級集団に応じる授業の構成と展開 小学校編	河村茂雄他	図書文化
授業スキル～学級集団に応じる授業の構成と展開 中学校編	河村茂雄他	図書文化

今も昔もクラスは学校の中の家庭です。はつらつとして温かみのあるクラスを目指して。

題 名	著(編)者	出版社
小学校若手教師の学級経営テキスト	寺崎千秋	明治図書
中学校若手教師の学級経営テキスト	渡辺邦雄他	明治図書
危機を乗り越える学級づくりの技術	高橋正和	明治図書
ハンドブック学級経営の悩み相談	小島 宏	教育出版
学級づくりを極める40のコツ	諸富祥彦	教育開発研究所
小学校高学年女子の指導～困ったときの処方箋	赤坂真二	学陽書房

<b>開館時間のご案内</b> 平日 午前9時～午後9時 (ただし、教育相談および視聴覚ライブラリーは午後5時15分までとします。) なお、次の日は取り扱いません。(土曜日・日曜日・祝日・年末年始)	<b>発行</b> 尼崎市立教育総合センター 尼崎市三反田町1丁目1-1( .06-6423-3400) <b>発行者</b> 神田 光 <b>題字</b> 尼崎市教育委員 岡本 元興
--	---